

Vol.101

自給力を身につけるための「たねのがっこう 郡上八幡本校」

近年の野菜や穀物、あるいは果樹の種子の権利というのは、種苗法という法律によって守られています。これは日本特有の形質を持つ品種を海外に流出させないための防壁でもあります。そのため、農林水産省ではこの種苗法を強化し、育成者の権利を守ることに注力してきましたが、この種苗法により農家は採種権利を失うというデメリットも生まれました。

日本の食料は他の先進国に比べて自給率が低いと言われています。事実、国内生産の野菜や穀物、あるいは果樹であっても、それを育てるための農薬や肥料、そして種子までが海外依存であり、有事の際や大規模な天災の時には、食料の供給が絶たれるというリスクを常に背負っています。

そうした国内状況を憂い、さらに



郡上 岡本よりたか



自給農を学ぶ講座
(八幡町市島にて)

大きな災害やパンデミックも経験し、生き方に不安を感じる人たちが増えてきました。その不安を払拭するためには、自給できる力を身につけることであると、無肥料栽培家の私、岡本よりたかは発信し続けてきました。

「たねのがっこう」は、私が自給する力を持つ生き方を提唱するため立ち上げた団体です。この「たねのがっこう」では海外に依存する農薬や化学肥料などを使用せず、かつ種子も自家採種をしながら、自分たちの食料の一部を自給するために、小さな農業スクールを毎年開催し、多くの人に自給農を学ぶ機会を与えています。また、固定種や在来種という、種苗法での権利に縛られない古くからの品種の種子をイザという時のために管理保管する活動も行っています。

現在「たねのがっこう」は全国に分校が6ヶ所あり、その本校となるのが八幡町の「たねのがっこう郡上八幡本校」です。また、「おひとり



たねのがっこうの
種子の保管庫



たねのがっこう
郡上八幡本校

農業」や「日々、発酵くらし」という書籍も出版し、それらの内容を伝えるべく、全国において講演活動なども行っています。

郡上には私が提唱する「暮らしの自給農」を実現できる山々と豊かな水、そして古き良き街並みと新しい人たちの受け入れる寛容さがあります。不安な社会情勢の中、自給できる力は生きる力となります。その想いがつながれていくことをこの地で願っています。

問 たねのがっこう

岡本よりたか

seeds.yoritaka@gmail.com



HP

市民のみなさん・郡上を離れている人や学生とその保護者へ

市内企業の
魅力をご紹介します！

郡上で働こ！

VOL.5

「笑顔で迎え、笑顔で帰す」

進学で一度は地元を離れ、大学や専門学校で学び、就職先を決め、働き始める。郡上は、そんな人たちの帰郷の場所。そして、自然に囲まれた美しい場所。一緒に楽しみたい。働きやすい環境。自然に囲まれた美しい場所。一緒に楽しみたい。働きやすい環境。自然に囲まれた美しい場所。一緒に楽しみたい。働きやすい環境。

《お問合わせ》
郡上市雇用対策協議会
☎67-1808

郡上市雇用対策協議会
Instagramで情報をキャッチ⇒



東海北陸自動車道上にある
「ひるがの高原サービスエリア」
を運営しています



みのもやしゅうと
若手社員の養島脩人さん

㈱スクラム
ホームページはこちら⇒



株式会社スクラム
ひるがの高原サービスエリア